

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金	開始 年度	昭和10年度
団体名	一般社団法人 函館国際観光コンベンション協会	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・一般社団法人函館国際観光コンベンション協会補助金交付要綱 ・函館国際観光コンベンション協会補助金交付に関する人件費算定基準		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当該協会は、函館市を中心とする南北海道の観光産業の振興を図り、もって国内及び国外からの観光旅行者の利便の増進並びに市民生活の向上及び繁栄に寄与するため活動している団体であり、当協会の運営費および事業費について補助金を支出する。
目 的	(目的) 函館の観光関連団体の核となっている当該団体の事業等に補助することにより、観光関連団体の観光プロモーション、観光客受入環境の向上等を促進し、もって本市の交流人口の拡大、地域経済の活性化を推進することを目的とする。
・ 効果	(効果) 観光産業の活性化および地域経済の振興。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	繰入金	計
		市	その他					
取 入	H29	34,400 [34,400]		217 [217]	16,600 [3,272]	1,285 [1,285]	2,000 []	54,502 [39,174]
	H30	34,400 [34,400]	170 [170]	0 []	15,490 [2,679]	1,219 [1,219]	581 [581]	51,860 [39,049]
	R元	34,400 [34,400]	297 [297]	1 [1]	15,810 [3,962]	1,192 [1,192]		51,700 [39,852]
	R2	34,400 [34,400]		14 [14]	10,205 [3,248]	1,140 [1,140]		45,759 [38,802]
	R3	34,400 [34,400]		2 [2]	10,140 [3,548]	1,131 [1,131]		45,673 [39,081]
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		
H29		27,585 [24,525]	3,302 []	22,396 [14,650]				53,283 [39,175]
H30		29,084 [25,484]	2,365 []	19,218 [13,565]				50,667 [39,049]
R元		30,005 [26,905]	2,634 []	17,920 [12,947]				50,559 [39,852]
R2		30,453 [30,453]	3,730 []	10,445 [8,349]				44,628 [38,802]
R3		28,711 [28,711]	1,105 []	14,726 [10,370]				44,542 [39,081]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の基幹産業である観光産業の振興、ひいては経済の活性化に多大な貢献があり、明確な公益性がある。
2	必要性 (補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	上記の公益性のほか、当該協会は行政と分業・連携しながら活動しており、本市の観光行政にとって必要不可欠な団体である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス等の影響で会員が減少し、厳しい状況にあるが、自主性の確保のため、会員の獲得、収益事業の充実に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光行政を遂行する上で、本団体は行政では対応できない部分を補充しており、補助によることが効果的である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	当該団体が行う観光プロモーション等の観光振興に寄与する公益性の高い事業は、函館観光に必要不可欠であるが、収益性がなく、当該団体の運営は、会費収入や販売事業等の収益だけでは厳しい状況にあり、当面継続した補助が必要である。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	経費の節減に努めている結果、繰越金が生じているため、事業の充実に努める。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	会費収入は、新型コロナウイルスの影響により会員が減少し、厳しい状況にある。今後の会員の獲得に努めるとともに、その他の財源確保のため、収益事業の充実に促していく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
団体独自事業, 関係機関との連携事業などを各種実施するなかで, それぞれの事業により参加者数, 誘致数, 満足度等の効果を測定している。	
(達成状況)	
<国内プロモーション事業> ・12/6 RINGOMUSUMEを活用した青函連携冬季イベントPR事業の実施	情報発信: 13件 「いいね」合計33, 133回
<情報発信事業> ・7/27～ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」PR動画の公開 ・11/30～12/27 冬の函館情報発信強化キャンペーンの実施	視聴数: 25, 554回 応募数: 6, 500件 ※令和3年度の主な事業を抜粋



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 会員の獲得, 収益事業の充実を促し, 補助金の縮減に努める。
	(見直しの時期) 令和4年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定 令和 6 年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 令和 6 年度
-----------------	---	-------------------------